



上智大学創立 100周年
 上智短期大学創立 40周年
 上智社会福祉専門学校 50周年



オリエンテーション・キャンプ

No. 11

1. オリエンテーション・キャンプの趣旨

上智大学の新生が参加する最初の行事が、オリエンテーション・キャンプである。入学式後の1週間は、新生歓迎の為にフレッシュマンウィークが行われ、この中に1泊2日の日程で開催される。新生が「ソフィアファミリー」の一員として1日も早く本学での学生生活に慣れ親しむことができるようにと、1966年に他大学に先駆けて始まった。



1966年のオリエンテーション・キャンプ、右エバレットSJと

キャンプの目的はイエズス会の学校精神で、「学校は知識や技能を次の世代に伝えるために設けられた特別な教育の場であり、この学校教育と並んで、もしくはそれ以上に人間形成において大きな役割を果たしているのが家庭や遊び仲間、同志団体による影響である」というものだ。そのため、このキャンプには新生と教員だけではなく、「ヘルパー」と呼ばれる所属学科の上級生も参加し、食事の世話から履修登録のアドバイスをするなど、キャンプの一切を取り仕切っている。こうした教育活動はかつてセミナリオやコレジオの学校（イエズス会神学校）で行われていた。教育されるものは教育者であることの意識をもち、学んでいるものはつねに後輩の援助、補習を手伝った。ここで先輩と後輩、教員とのあいだで、教えるものと教わるものの相互依存関係を構築することで、自分が学んだことは他人の役に立たせるという訓練が行われている。現在の教育精神「Men and Women for Others, with Others」にも連携するのである。



2. リーダーズ・キャンプ

オリエンテーション・キャンプの先駆けとなったのがリーダーズ・キャンプである。第1回リーダーズ・キャンプが川口湖畔で1959年の7月に4泊5日の日程で行われた。学問への情熱や大学を「教える者と教えられる者との精神的共同体」とする本学の基本的考え方を学生に

伝えようと、時の学生部長であったフランツ・ボッシュ神父の提案により実現した。大学主導型ではなく、学生の自主的活動を大学が支援するというコンセプトのもとに、当時学生会に所属するクラブ活動のリーダーが、教



職員と一緒に共同生活することで、相互の信頼感を深め、課外活動



の意義を探り、愛校心を高め、そして真の学生像の把

3つの写真は1960年長野県で行われたリーダーズ・キャンプ

握に努めようとするものであった。

参加者数は 80 名、主たるテーマは「課外活動」「リーダーシップ」「建学の精神」についての議論であった。その後毎年参加者が増えつつ各地で実施されたが、1964 年第 6 回の記録が最後で、その後の記録は見当たらない。その 2 年後の 1966 年に第 1 回オリエンテーション・キャンプが開催される。

3. 第 1 回オリエンテーション・キャンプ

1966 年に第 1 回オリエンテーション・キャンプが行われた。1713 人の新入生を対象に研修合宿を行うことは他に類がなく、企画・運営の面で困難を極めた。学科毎に日をずらして 1 泊 2 日の日程で箱根高原ホテル・ホテル芦ノ湖畔で行われた。学長及び各学部・学科長の挨拶の後、映画「上智大学五十周年」を鑑賞、続いて各学部、学科別集会に移り、夜遅くまで教授を囲んで話に花を咲かせた。

新入生のアンケートでは、「来年も続けるべき」という高い評価の意見が多く、この企画は大成功を収めたのである。その後毎年行われるようになり、場所は箱根のホテルや、1983 年からは御殿場の東山荘などで行われるようになった。(2011 年度は東日本大震災のために中断)



芦ノ湖畔に向かう第 1 回オリエンテーション・キャンプの学生たち

4. 現在のオリエンテーション・キャンプ

費用がかかる上に目にみえた成果も得られないため、廃止とする他大学が多い中、1966 年からオリエンテーション・キャンプは毎年開催され、上智大学の特色ある行事の一つとなっている。参加人数も 1977 年からは 2000 人を超え、教員・上級生のヘルパーが新入生の数に合わせて調整、参加する。2 日間の日程のうち、学科集会在計 3 回実施され、履修登録や課外活動の説明に始まり、キャンパスライフの指南に至るまで盛りだくさんの企画が行われる。



中でも、ヘルパーが準備に数か月を費やしたゲームやスポーツは親睦を深める良い場となっている。また、新入生と教員・ヘルパーとの間で話題が付きず、深夜まで歓談が続くことも多い。



3 つの写真は 2006 年 4 月のオリエンテーション・キャンプ風景

毎年、新入生は「友人が出来て良かった」、「留学やサークル等、大学生活でやりたいと思っていることがたくさんあるが、オリキャンの話がとても参考になった」という感想を聞かせてくれる。

また見直しや改善策なども検討された時期もあったが、学生はもとより、教員にとっても友好を深めるかけがえのない場であるオリエンテーション・キャンプは、上智大学の教育精神でもある。

また見直しや改善策なども検討された時期もあったが、学生はもとより、教員にとっても友好を深めるかけがえのない場であるオリエンテーション・キャンプは、上智大学の教育精神でもある。